

令和3年第12回

島田市教育委員会定例会

令和3年12月23日



令和3年第12回島田市教育委員会定例会日程

日時：令和3年12月23日（木）午後2時00分～

会場：プラザおおるり第3多目的室

1. 開 会
2. 会期及び会議時間の決定
3. 会議録署名人の指名
4. 教育部長報告
5. 事務事業報告
 - (1) 教育総務課 (2) 学校教育課 (3) 学校給食課 (4) 社会教育課
 - (5) 博物館課 (6) スポーツ振興課 (7) 図書館課
6. 付議事項
 - (1) 令和4年度島田市の教育方針について
 - (2) 島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会要綱の一部改正について
7. 協議事項
8. 次回教育委員会定例会における協議事項の集約について
 - (1) 事務局から提案するもの
 - (2) 各委員が提案するもの
9. 報告事項
 - (1) 令和3年11月分の寄附受納について（教育総務課分）
 - (2) 令和3年11月分の生徒指導について
 - (3) 指定管理者の指定について
10. その他
 - ・会議日程について
 - 次回 令和4年第1回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和4年1月28日（金）午後2時30分～午後4時30分
 - 会場 プラザおおるり第1多目的室
 - 次々回 令和4年第2回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和4年2月24日（木）午後2時00分～午後4時00分
 - 会場 北郷ふれおセンター
11. 閉 会

教育部長報告



一 般 質 問 (令和3年11月市議会定例会)

4. 9番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 教育現場のICT環境の現状について

GIGAスクール構想に基づく教育現場へのICT機器導入により、教育環境は大きな変化を迎えている。コロナ禍での教育環境確保策としても、大きな期待が寄せられていることと思うが、一方で、新技術導入により教育現場への負担も生じていると聞く。

ICT機器の現状を確認するとともに、よりよい教育環境構築に向けた市の考えについて、以下質問する。

<質 問>

(1) ICT機器の各学校への配備状況を伺う。

<答 弁>

まず、1人1台端末ですが、小学校には児童用5,179台と教員用226台の計5,405台、中学校には生徒用2,377台と教員用93台の計2,470台、市全体で7,875台を整備しました。

また、プロジェクター及びスクリーンを、全学級分と特別教室分について、小学校に317セット、中学校に129セット、市全体で446セットを整備しました。

この他、マイク付きカメラを各学年に1台と学校ごとに1台の割合で、小学校に126台、中学校に28台、市全体で154台を整備しました。

<質 問>

(2) ICT機器の活用状況及び通信環境や学習スペースなどの現状と課題を伺う。

<答 弁>

例えば、市内ではいち早く端末の活用を始めた金谷中学校では、約65%のクラスで、1日のうちに必ず1回は端末を活用する授業が行われています。また、1日のうちの半分以上の授業で端末を活用しているクラスは約20%あります。

個別の課題に取り組む場面や、あるテーマに対して全員が意見を出し合う場面等、様々な場面で活用しています。

通信環境につきましては、GIGAスクール構想によって各校の高速通信ネットワークを整備したところですが、比較的規模の大きな学校では全教室で同時に動画を閲覧することは困難であり、運用面で対処している状況です。

学習スペースについては、児童・生徒用机に関してお答えします。市内小中学校においては、平成11年のJIS規格改正以降、特色として木製机を使っていた学校を除き、全て新規格に沿った机で更新してきました。旧規格に比べれば天板は広くなりましたが、端末を教科書やノートと同時に開くことまで想定された作りではないため、手狭な状況になっています。

<質 問>

(3) ICT支援員について、現在の支援状況及び課題を伺う。

<答 弁>

ICT支援員は、4校に1人の割合で配置しており、各支援員は半日単位で担当校を回り、教員の教材づくりや授業支援、活用研修などの業務にあたっています。

課題としては、ICT支援員の委託業者と端末を納品した業者が異なるため、教員が機器を扱う際に生じた不都合等をどちらの業者に伝えるべきか判断が付きにくいことと、業者を跨ぐ連絡体制が原因で不都合等の修復に時間を要することが挙げられます。

5. 19番 大村 泰史 議員 (一問一答)

1. まちづくりの在り方について

多くの自治体で地域環境を考慮したまちづくりをされている。当市においても、総合計画、中心市街地活性化基本計画、立地適正化計画、過疎地域持続的発展計画等、様々な取組がされている。施政方針にも、地域の個性を大切に、いつまでも住み続けたい、また訪れたいオンリーワンのまちづくり、自然とともに生きるまちづくり等が述べられている。将来を見据えて計画を立て実現することが必要である。当市の取組方針の確認及び市民や地域の課題、現状把握、問題解決等について、以下質問する。

<質 問>

(7) みんなの廃校プロジェクトに掲載後の進捗状況を伺う。

<答 弁>

現在、令和6年3月に閉校を予定している伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、伊久美小学校を「みんなの廃校プロジェクト」に掲載しており、跡地利活用について、11月末時点で企業や団体から12件、個人から4件の問い合わせがありました。

問い合わせのあった企業等に対しては、今後の検討の参考にさせていただくため、市としての跡地利活用の考え方や今後の進め方等を説明しました。

また、各学区の自治会には、定期的にお問い合わせ状況をお伝えしています。

6. 7番 四ツ谷 恵 議員 (一問一答)

1. 初倉地区の学校再編について

先日、初倉地区小中学校再編方針検討委員会が開かれた。初倉地区は、若い世代が増えつつあり、現在の小・中学校の規模と児童・生徒数は適正であるという地域の声もある。検討委員会では、住民の意見がきちんと反映されているか疑問が残る。

市が進めている島田市教育環境適正化検討委員会提言書の中で、「地域住民との合意を図りつつ子供のニーズを最優先に立てて全市ぐるみの対応をしていく」とあるが、子供たちの成長発達にとって再編は不可欠ではないと考える。また、子供たちを取り巻く地域づくりやコミュニティなどは守られるか不明確である。まだ小中一貫校が、どのようなものであるかわからない中で、検討委員会が初倉地区小中学校再編方針を決定するのは時期尚早で、拙速ではないかと考え、以下質問する。

<質 問>

(1) 学校再編の提案は、いつ、どこの部署で、どのような経緯で提起されたか伺う。

<答 弁>

学校再編については、平成27年に設置した「島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」から平成28年9月に教育委員会に提出された提言書を基に検討が始まりました。

提言書では、夢育・地育の推進、小中一貫教育の推進などと併せ、児童・生徒の教育環境確保の観点から学校再編についても触れられていました。そのため、平成29年に「島田市教育環境適正化検討委員会」を設置して学校再編の検討を進め、初倉地区の再編方針案については平成30年9月に提出された提言書の中で示されていました。

内容は、まず「早期再編を望む保護者が多い湯日小学校を、先行して初倉小学校と統合することが望ましい」とし、その後「将来的には初倉南小学校を現在の初倉小学校に統合した上で、初倉中学校も含めた準一体型の小中一貫教育校とすることも検討すべき」というものでした。

なお、平成30年10月の教育委員会定例会において、同提言を教育委員会の方針としていくことで議決しましたので、これをもって提起したものと考えます。

<質 問>

(2) 地元から再編の要望があったか伺う。もし、要望があったのであれば、どのような要望か伺う。

<答 弁>

学校再編については、地元の要望を受けて検討を始めたものではありませんが、「島田市教育環境適正化検討委員会」で実施したアンケート結果を地元の御意見として捉えています。

アンケートでは、再編が必要と答えた人の割合は、湯日小学校区が79.3%、初倉南小学校区が30.3%、初倉小学校区が28.4%となっており、特に湯日小学校の保護者の間からは、初倉小学校との早期再編を望む声が多くなっていました。

<質 問>

(3) 学校再編の経緯について、地元への説明はどの程度進んでいるか。また、説明会はどのような人が何人参加したか伺う。

<答 弁>

初倉地区における学校再編の経過に係る地元説明については、平成29年5月に「島田市教育環境適正化検討委員会」を設置してから、令和元年8月に「島田市立小中学校再編計画」策定までの間に、計10回開催し、保護者や地域住民など延べ461人が参加されました。

なお、「島田市立初倉地区小中学校再編方針検討委員会」では、コロナ禍の影響もあって地元説明会を開催していませんが、委員には各小中学校のPTA本部役員会議等に参加して意見交換を行い、御意見を持ち帰って報告していただいております。

<質 問>

(4) 初倉南小学校の保護者から、令和元年5月に初倉地区小学校再編における初倉南小学校の統合廃止を求める請願書の署名活動が行われたと聞くが、その扱いは、現在どのようなになっているか。また、どのように受け止めているか。

<答 弁>

「初倉地区小学校再編における初倉南小学校の統合廃止を求める請願書」は、平成30年12月の意見交換会以降、初倉南小学校の保護者の皆様にお示した湯日小学校、初倉南小学校、初倉小学校の3校同時統合案に反対する旨のものでした。

この請願書が市長に提出される前に、学校再編計画策定委員会において3校同時統合ではなく、湯日小学校と初倉小学校を先行して統合し、初倉南小学校と初倉小学校の統合については今後も調査・研究を継続するという意見にまとまったことから、市長への提出は取りやめることとなり、代表者の申し出により、教育委員会で保管することになりました。

また、初倉南小学校と初倉小学校の再編方針を検討する際には、保護者の皆様の意見を十分に汲み取ると同時に、今後も丁寧な説明をしていく必要があると受け止め、検討委員会では積極的な情報提供と意見集約を随時行っています。

<質 問>

(5) 学校再編後、小中一貫校を考えているとのことであるが、そのメリット、デメリットも知らされていない中で保護者、地域住民アンケート調査を行っている。一方で、現場で働く先生や子供たちの意見はどうか。

<答 弁>

本年1月に実施した保護者アンケートは、小中一貫教育のメリット・デメリットや教育委員会の考え方などがどの程度浸透しているかを測るとともに、設問を読むことで小中一貫教育を知っていただくことも目的として実施したものです。

小中一貫校のメリット・デメリットについても、検討委員会の委員間で丁寧に情報提示をすべきとの意見で一致したため、先進事例の視察やリモート勉強会等で得た情報のほか、検討委員会で話し合われた内容についても、その都度、チラシや組回覧、ホームページ等で周知してきました。

こうした経緯から、小中一貫校のメリット・デメリットについての理解は進んでいるものと判断し、本年9月に保護者・地域住民アンケートを実施したところです。

また、これまでも意見交換会や説明会等で子供達からアンケートを取るべきではないか、との御意見をいただきましたが、北部地区説明会において「再編は、将来的な地域課題等にもつながるため、大人の責任で判断すべき」と来場者との間で合意されましたので、これを市の方針としています。

教員の意見については、「島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」以降に設置した全ての委員会で、複数の教員を委員に任命してきましたので、現場の声を反映できているものと考えています。

<質 問>

(6) 学校再編し、小中一貫校を目指しているが、具体的にメリット、デメリットはどうか。

<答 弁>

小中一貫校のメリットの代表的なものとして、小学校教員が中学校で、中学校教員が小学校で授業を行ったり、小中学校間の交流活動を行ったりすることで、小学生の中学進学に対する安心感につながるものが挙げられます。また、中学生が小学生の面倒を見たり模範になったりするため、中学生は優しさが育ち精神面の安定が期待できます。

学校としては、小中9年間の長期的な視点でカリキュラムを組むことができ、指導や課題解決により効果を上げることが期待できます。

デメリットとして小中一体校の場合は、中学進学という節目の意識が低くなる可能性や、小学6年生がリーダーシップを発揮する機会が減る可能性が考えられます。

<質 問>

(7) 小中一貫校の形式として、施設一体型と分離型、または、現在ある二つの小学校と中学校を維持する長期寿命化の3つのパターンそれぞれの財政面での比較はどうか。

<答 弁>

施設一体型小中一貫校の必要経費は、周辺農地等の取得費を含め76億円程度としていますので、一番高くなるパターンと見込んでいます。

次に、施設分離型小中一貫校の必要経費は、小学校1校の改築と中学校1校の長寿命化工事を実施して総額59億円程度となり、最も低い金額のパターンになると見込んでいます。

最後に、小学校2校と中学校1校のまま当面維持し、3校とも長寿命化工事を行うことになった場合の必要経費は、総額72億円程度になるため、二番目に高いパターンになると見込んでいます。

なお、各パターンの必要経費は概算であり、実際の金額と異なる場合があります。

<質 問>

(8) 初倉地区小中学校の再編方針を決定するまでの進め方を伺う。

<答 弁>

前回の検討委員会以降、アンケート結果と検討委員会の概要を保護者配布や組回覧等で周知するとともに、委員の皆様にはPTAや地域の役員等からの意見聴取をお願いしているところです。

12月9日に検討委員会を開催し、委員の皆様には聴取してきた意見を踏まえ、提言書(案)のたたき台について協議をしていただきます。

令和4年1月には、提言書の最終調整を行うために再び検討委員会を開催して、教育委員会に提言書を提出していただく予定です。

その後、教育委員会や総合教育会議で提言の内容を協議し、最終的に今年度中の教育委員会定例会において、方針の決定を目指しています。

16. 10番 村田千鶴子 議員 (一問一答)

1. 小・中学校の学区について

小・中学校の学区は、児童・生徒数の将来予測、道路・河川の地理的状況、通学距離、さらには、地域の実態等を踏まえて、教育委員会が判断し設定していると聞いている。本市では、北部地域及び初倉地区において、学区の再編が行われたが、今後の学区の見直しについて、以下質問する。

<質問>

(1) 学区の見直しについて

- ① 今後も児童生徒数の減少が見込まれる中、一定の学校規模を維持する目的から、学区の見直しを視野に入れているか伺う。
- ② 見直しを行う場合には、その基本的な方針は何か伺う。

<答弁>

児童・生徒数の人数については、今後ゆるやかに減少すると考えられますが、現在は、安定した学校運営を行うことができると判断し、学区の見直しは考えておりません。

今後、1学年20人以下になるような状況が生まれた場合は、統合について検討し、学区の見直しが必要になると考えております。

<質問>

(2) 学校選択制の評価について、他の市町村教育委員会で導入されたブロック選択制や隣接区域選択制などの学校選択制について、どのように評価しているか伺う。

<答弁>

学校選択制について、本市では「ブロック選択制」や「隣接区域選択制」は採用しておりません。

また、決められた学区に通うことにより、安全な通学路が確保され、地域との交流・密着性が深まり、人数規模に合わせた教育活動の継続が見通せるため、学区の選択制については、当面の間検討する予定はありません。

<質問>

(3) 学区の弾力的な運用について、指定学区を基本としつつ、身体的な理由や教育上の理由など、個々の事情に応じて指定校以外の学校に通学を認める学区の弾力的な運用を拡大する考えはあるか伺う。

<答弁>

指定学校に通うことを基本としつつ、個々の状況や実情に合わせて対応しているため、更なる弾力的運用を拡大する予定はありません。

2. GIGAスクール構想の推進に向けた情報セキュリティの確保について

本市では、本年4月から全小・中学生にパソコン1台ずつが貸与されるなど、デジタル社会における情報教育の充実が期待される。一方で、東京都町田市における悲惨な事案が発生したと聞く。このことから、情報セキュリティの確保が急務と考えるが、現状と今後の課題について、以下質問する。

<質 問>

(1) 金谷中学校などのモデル校における情報セキュリティの現状と課題は何か伺う。

<答 弁>

現在、市内小中学校では子供だけによるメールやチャット等は、できないように設定しています。また、IDやパスワードについても、個々の児童・生徒がそれぞれ違うものを使用しています。

端末の使用による人間関係のトラブルを防ぐためには、機能のある程度制限するとともに、児童・生徒がICT機器のよき使い手となるように、指導する必要があります。

<質 問>

(2) 児童・生徒に対して、情報を取り扱う上での基本的なモラル（倫理）について、教育現場でどのような指導を行っているか伺う。

<答 弁>

現在、各学校の実状に応じてICT担当者を中心に情報モラル教育を推進しています。また、道徳の授業等においても使用時間や閲覧サイトに関する指導及びコミュニケーションのとり方についての指導等を行っています。

さらに、校長会と連携して、ICT担当者研修会で情報モラル教育の進め方について共通理解を図ったり、大学の講師を招いて具体的な指導方法について研修したりして、各学校の取組を支援しています。

19. 20番 平松吉祝 議員 (包 括)

1. 学校のトイレ洋式化で新型コロナウイルス感染症対策を

現在、日本のトイレ洋式率は90%を超えているが、公立学校のトイレ洋式率は57%である。学校のトイレは子供が1日に何度も使う場所で健康・精神面で重要であり、その改修により教育的効果も大きいことが指摘されている。新型コロナウイルス感染症対策として、学校施設や公共施設、飲食店などのトイレ洋式化は進んでいる。また、災害時に避難所となる学校施設、公共施設においては、防災機能の強化として高齢者や車椅子利用者も利用できる多目的トイレの整備も急がれている。その中であって、当市の公立小・中学校へのトイレの改修整備も急がれるところである。文部科学省は公立学校施設の整備として、昨年度予算額688億円を令和4年度要求・要望額を2,352億円とした。これまでもトイレ改修には国も財政面の手当てをしている。補助率は3分の1であるが、実質的な地方の負担率は26.7%になる。子供たちの教育環境の向上のため、以下質問する。

<質 問>

(1) 当市の公立小・中学校におけるトイレ洋式化率の推移はどうなっているか。また、今後の計画を伺う。

<答 弁>

校舎の児童・生徒用のトイレの洋式化率は、平成28年度に49.7%と長年目標にしてきた50%を概ね達成し、令和3年10月末現在では、65.0%まで上昇しております。

これまでは、児童・生徒の主な生活空間である校舎内トイレの洋式便器の増を目的に

事業を実施してきましたが、今後において改築工事や長寿命化改修工事を行う学校では、全てを様式化していくことを考えております。

<質 問>

(2) トイレ改修では水まわり、照明、自動水栓、乾式化することで水道費、電気代の節約、新型コロナウイルス感染症対策になると考えるがどうか伺う。

<答 弁>

これまでは、生活様式の変化に合わせて洋式便器に改修する工事を実施してきました。最近では省エネルギーや新型コロナウイルス感染症対策の観点から、非接触型機器の設置の必要性が高まったと認識しております。

今後は改築工事や長寿命化改修工事に併せて、和式便器を洋式便器に取り替えるだけでなく、非接触型の点灯式照明及び水栓等の設置も行っていきたいと考えます。

<質 問>

(3) 多目的トイレの整備計画についてはどうか伺う。

<答 弁>

多目的トイレにつきましては、静岡県福祉のまちづくり条例が制定された平成7年以降に建築した学校及び特別支援学級がある学校を中心に現在16校に設置しています。

今後の計画としては、改築を進めている島田第一小学校の校舎、体育館に設置を予定しています。

<質 問>

(4) 教職員トイレの現状と今後についてはどうか伺う。

<答 弁>

校舎建設当時より教職員や支援員が増加し、人員に対しての便器数の不足が生じている学校や、老朽化により不具合が発生している学校があります。器具の修繕や便器の洋式化工事を実施して環境の改善を図っておりますが、トイレのスペースが限られ、便器数を増やすことが出来ない学校もあります。

今後行う長寿命化改修や大規模改修工事の実施時には教職員用のトイレについても改善していくことを考えております。

2. ICT教育（タブレット使用）の進捗について

1人1台の端末整備が完了し、子供たちはうれしそうに機器に親しんでいるとの現状を聞く。ここから、いかに活用し展開していくかが大切である。その実用状況について、以下質問する。

<質 問>

(1) ID、パスワードの重要性についての指導、確認はどのようにしているか伺う。

<答 弁>

IDは一人ひとり個別に設定し、重複がないように確認しました。また、パスワードは、一人ひとりに個別のものを設定させました。

低学年については、保護者にも御協力いただきながらパスワードを決めました。各学校では、パスワードは一人ひとりの大切な情報であり、他人に知られないように管理する等の事前指導を行っています。

また、10月の校長会やG I G Aスクールに関する協議会で、他市の事件を話題にするとともに、11月に開催したI C T担当者研修会で、I Dとパスワードに関する指導の重要性について、改めて共通理解を図りました。

<質 問>

(2) 家庭でのタブレット使用に支援を要する場合の対策はどのようにしているか伺う。

<答 弁>

まずは、児童・生徒が学校で端末の操作に慣れることが、家庭でのスムーズな活用に繋がると考えていますので、学校での活用に力を入れています。自分自身でログインをしたりアプリケーションを操作したりできるように、学年に応じて指導しています。

また、家庭での使用を支援するために、操作マニュアルを作成したり、接続を確認するための日を設けたりする等の取組を、学校ごとに進めています。

<質 問>

(3) タブレットを紛失したり、破損したりした場合の保険、保証はどのようになっているか伺う。

<答 弁>

市としては、1人1台端末の紛失や破損のための保険には加入しておりません。

また、保証期間は購入から1年間となっており、その間の自然故障については無償で修理されます。

<質 問>

(4) タブレットのランニングコストについて、年間の予算額を伺う。

<答 弁>

1人1台端末におけるランニングコストの今年度の年間予算額は、端末で使用するソフトの使用料として小中学校合計で約1,700万円となっております。

この他、統合を予定している北部4小学校と島田第一小学校については、校内通信ネットワークを整備する代わりにモバイルW i - F i ルーターで対応していますので、小学校に約1,000万円の通信費を予算化しました。

一般会計歳入歳出予算補正（11月市議会提案）

歳入

(款) 15 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金 (単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計
6 教育費国庫補助金	80,849	3,203	84,052

歳出

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費 (単位：千円)

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
特別職	共済負担金率変更に伴う共済費の減額	13,319	△ 5	13,314
一般職	当初予算編成後の人事異動等に伴う給与費の調整	161,627	5,395	167,022
会計年度任用職員	当初予算編成後の任用状況に伴う費用弁償の調整	2,422	34	2,456

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 3 教育研究推進費 (単位：千円)

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
会計年度任用職員	当初予算編成後の任用状況・給与決定に伴う給与費の調整	182,863	△ 7,645	175,218

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 1 学校管理費

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
一般職	当初予算編成後の人事異動等に伴う給与費の調整	69,537	△ 2,203	67,334
会計年度任用職員	当初予算編成後の任用状況に伴う費用弁償の調整	67,780	135	67,915
小学校運営経費	小学校における新型コロナウイルス感染症対策に要する経費	171,304	4,434	175,738

(款) 10 教育費

(項) 3 中学校費

(目) 1 学校管理費

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
一般職	当初予算編成後の人事異動等に伴う給与費の調整	68,300	△ 10,271	58,029
会計年度任用職員	当初予算編成後の任用状況に伴う費用弁償の調整	13,999	2	14,001
中学校運営経費	中学校における新型コロナウイルス感染症対策に要する経費	81,423	1,972	83,395

(款) 10 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 1 社会教育総務費 (単位:千円)

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
一般職	当初予算編成後の人事異動等に伴う給与費の調整	332,915	△ 23,698	309,217

(款) 10 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 1 保健体育総務費 (単位:千円)

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
一般職	当初予算編成後の人事異動等に伴う給与費の調整	204,321	△ 1,219	203,102

一般会計債務負担行為補正（11月市議会提案）

事 項	期 間	限 度 額
外国人英語指導委託	令和4年度から 令和5年度まで	43,560千円
スクールバス運行管理委託	令和4年度	37,906千円
小学校ICT活用支援委託	令和4年度から 令和7年度まで	120,490千円
中学校ICT活用支援委託	令和4年度から 令和7年度まで	37,172千円
金谷生きがいセンター管理運営委託	令和4年度から 令和8年度まで	162,600千円

事務事業報告



事務事業の概要

教育総務課

実施（11月25日～12月22日）

月 日	曜日	事 項	場 所
11月25日	木	第11回教育委員会定例会	市役所本庁舎
		第8回学校施設跡地利活用検討委員会 ※書面会議により開催	
12月9日	木	第5回初倉地区小中学校再編方針検討委員会	初倉公民館
12月10日	金	第4回外部評価委員会	プラザおおるり
12月14日	火	第5回外部評価委員会	プラザおおるり
12月15日	水	学校訪問	第一中、 教育センター
12月15日	水	管理棟・南棟屋根等改修工事完成検査	金谷小学校
12月16日	木	浄化槽等改修工事完成検査	六合中学校

予定（12月23日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
12月23日	木	第12回教育委員会定例会	プラザおおるり
1月14日	金	第6回初倉地区小中学校再編方針検討委員会	初倉公民館
		第9回学校施設跡地利活用検討委員会	市役所本庁舎
1月19日	水	第7回初倉地区小中学校再編方針検討委員会	初倉公民館
		島田市立初倉地区小中学校再編方針検討委員会提言書 手交式	初倉公民館

事 務 事 業 の 概 要

学校教育課

実 施 (11月25日～12月22日)

月 日	曜日	事 項	場 所
11月25日～ 11月26日	木 金	修学旅行 (六合小)	山梨県
11月27日	土	学校祭 (第二小、伊太小、神座小)	各校
		サタデーオープンスクール (参加者：14人)	伊久美地区
		運動会 (初倉南小)	初倉南小学校
11月29日	月	代休 (第二小、伊太小、神座小、初南小)	各校
11月30日	火	オンライン交流授業 (姉妹校) (第一中、モンゴルナラン外国語学校)	第一中学校
12月 2 日	木	学校祭 (大津小)	大津小学校
		オンライン交流授業 (姉妹校) (第一中、モンゴルナラン外国語学校)	第一中学校
12月 3 日	金	学校祭 (第五小)	第五小学校
12月 4 日	土	学校祭 (第四小、初倉小、川根小)	各校
12月 6 日	月	代休 (第四小、初倉小、川根小)	各校
12月11日	土	サタデーオープンスクール (参加者：27人)	伊久美地区
12月18日	土	サタデーオープンスクール (参加者：23人)	伊久美地区
12月19日～ 12月21日	日 火	修学旅行 (〃) 根中)	長崎方面

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
12月23日	木	二学期終業式 (大津小、伊太小、神座小、伊久美小、五和小、第一中)	各校
12月24日	金	二学期終業式 (第二小、第三小、相賀小、第五小、六合東小、第二中、六合中、初倉中、金谷中、川根中)	各校
12月28日	月	代休 (北中)	北中学校
1月6日	木	三学期始業式 (第二小、第三小、大津小、伊太小、神座小、伊久美小、第五小、五和小、第一中、第二中、初倉中、金谷中、川根中)	各校
1月7日	金	三学期始業式 (相賀小、六合東小、六合中)	各校
1月15日	土	サタデーオープンスクール (参加予定：20人)	伊久美地区
1月22日	土	サタデーオープンスクール (参加予定：20人)	伊久美地区 千葉山(大津地区)
1月27日	木	就学支援委員会 (参加予定：30人)	プラザおおるり

事 務 事 業 の 概 要

学校給食課

実 施 (11月25日～12月22日)

月 日	曜日	事 項	場 所
11月25日	木	献立会議 (2月分)	中部学校給食センター
12月9日	木	物資選定会 (2月分)	中部学校給食センター
12月16日	木	献立会議 (3月分)	中部学校給食センター

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
12月22日～ 2月28日	水 月	アレルギー面談 (対象者数: 55人)	市立小中学校
12月23日	木	第2学期学校給食最終日	中部学校給食センター 南部学校給食センター
1月7日	金	第3学期学校給食開始日	中部学校給食センター 南部学校給食センター
1月13日	木	物資選定会 (3月分)	中部学校給食センター
1月24日～ 1月28日	月 金	学校給食週間	中部学校給食センター 南部学校給食センター
1月27日	木	献立会議 (4月分)	中部学校給食センター

事務事業の概要

社会教育課

実施(11月25日～12月22日)

月 日	曜日	事 項	場 所
11月25日	木	子育て広場「ぐう・ちよき・ぱあ」 (11/25) (参加者: 21組44人) (12/2) (参加者: 8組16人) (12/16) (参加者: 10組 20人)	第一中学校
		第6回中央高齢者学級「おりがみ講座」 (参加者: 11人)	しまだ楽習センター
		金谷公民館 市民学級 「移動学習～音の散歩道“清流ウォーク” ～」 (参加者: 19人)	金谷公民館・川根 本町
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「キッズフィットネス」 (受講者: 7人)	北部ふれあいセン ター
		川根地区センター すこやか学級 「ペタンクを楽しもう」 (参加者: 17人)	川根地区センター
11月26日	金	初倉公民館 市民学級 「チューリップを植えよう」 (参加者: 8人)	県営吉田公園
11月27日	土	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「工作教室」 (受講者: 12人)	北部ふれあいセン ター
11月28日	日	金谷公民館 社会教育講座 「女性のためのライフプラン講座」 (参加者: 18人)	金谷公民館
		芸能と文化の祭典2021 (市民文化祭・音楽芸能部門) (参加者: 515人)	プラザおおるり
		島田市民文化祭表彰式 (参加者: 80人)	プラザおおるり
11月29日	月	不登校やひきこもりの回復を考える家族教室 (受講者: 8人)	市役所会議棟

月 日	曜日	事 項	場 所
11月30日	火	北部ふれあいセンター 高齢者学級 「楽しいレクリエーション」 (受講者：24人)	北部ふれあいセン ター
		初倉公民館 市民学級 「ペーコン作り」 ①-1 11/30、①-2 12/3 ②-1 12/7、②-2 12/10 (受講者：25人)	大津農村環境改善 センター
12月1日	水	初倉放課後子供教室「フレンズクラブ」 ボール遊び (参加者：21人)	初倉南小学校
		中学生講座「スイ・水・数学⑯」 ※⑰15日、⑱22日 (参加者：⑯0人、⑰0人、⑱0人)	金谷公民館
		第5期初めて0歳児をもつ親の講座 全4回(12/1, 12/8, 12/15, 12/22) (参加者：12組24人)	保健福祉センター
		はつくら寺子屋 初倉南小学校(12/1) (参加者：16人) 初倉小学校(12/8) (参加者：23人) 初倉南小学校(12/15) (参加者：17人)	初倉南小学校 初倉小学校 初倉南小学校
12月2日	木	六合公民館 社会教育講座 やさしいヨガ講座③ (参加者：6人、託児4人)	六合公民館
		第7回中央市民学級 「おりがみ講座」 (参加者：12人)	しまだ楽習センタ ー
12月3日	金	六合公民館 市民学級 「健康講座①」全3回(12/3, 1/7, 2/4) (参加者：14人)	六合公民館
12月4日	土	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「ハーバリウム体験講座」 (受講者：20人)	北部ふれあいセン ター

月 日	曜日	事 項	場 所
12月5日	日	金谷公民館 げんきキッズ 「お話の世界」 (参加者：19人)	夢づくり会館
12月8日	水	初倉放課後子供教室「フレンズクラブ」 選択活動 (参加者：20人)	岡田公会堂
		金谷宿大学清掃奉仕活動 (参加者：14人)	夢づくり会館
		伊久身農村環境改善センター社会教育講座 「ベーコンづくり講座」 (受講者：3人)	伊久身農村環境改 善センター
		金谷公民館 社会教育講座（高齢者学級と 合同） 「認知症を予防する講座」 (参加者：25人)	金谷公民館
		川根地区センター 市民学級 「健康講座」 (受講者：12人)	川根地区センター
		第3回生涯学習推進協議会 (出席者：9人)	市役所会議棟
12月9日	木	第8回中央市民学級 「大井川と島田宿の 歴史講座」 (参加者：14人)	しまだ楽習センタ ー
		初倉公民館 スマートフォン講座 ※DX推進課共催事業 LINE使い方講座（12/9） (参加者：22人) アプリ活用講座（12/21） (参加者：16人)	初倉公民館
12月10日	金	金谷公民館 市民学級（かなや未来塾） 「寄せ植え教室」 (受講者：15人)	金谷公民館
		市町人権教育連絡協議会 第3回社会教育 部会「子どもの人権侵害とSNS」 (出席者：1人)	牧之原市相良総合 センター
		初倉西部ふれあいセンター 社会教育講座 「クリスマスケーキづくり」 (受講者：12人)	初倉西部ふれあい センター

月 日	曜日	事 項	場 所
12月11日	土	六合公民館 社会教育講座 「六合子どもチャレンジクラブ」 (月1回、全8回) (参加者:75人)	六合公民館
		幼児・児童を持つ親の講座(単発講座) 「子どもの発達と関わり方」 (参加者:33人)	六合公民館
		伊久身農村環境改善センター社会教育講座 「ベーコン作り」 (参加者:7人)	伊久身農村環境改善センター
12月11日～ 12月12日	土 日	第6回ささま国際陶芸祭 「穴窯焼成ワークショップ」 (参加者:70人)	山村都市交流センターささま
12月12日	日	金谷公民館 利用者団体清掃活動 (参加者:35人)	金谷公民館
		金谷公民館令和4年度定期利用団体説明会 (参加者:32人)	金谷公民館
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「楽しい英会話教室」 (受講者:8人)	北部ふれあいセンター
12月14日	火	大津農村環境改善センター運営委員会 (出席者:6人)	大津農村環境改善センター
		初倉公民館 短期講座 「イ草香るしめ縄花飾り作り」 (参加者:8人)	初倉公民館
12月15日	水	初倉放課後子供教室「フレンズクラブ」 クリスマス飾り作り (参加者:21人)	岡田公会堂
		第4回 社会教育委員の会議 (出席者:9人)	市役所会議棟
12月16日	木	ゆったり座談会(不登校やひきこもりの回復を考える家族教室) (参加者:3人)	市役所会議棟
		青少年育成支援センター運営協議会 第4回運営委員会 (出席者:15人)	プラザおおるり

月 日	曜日	事 項	場 所
12月16日	木	伊久身農村環境改善センター 高齢者学級 「お正月飾りを作ろう」 (受講者:16人)	伊久身農村環境改善センター
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「リラックス ヨガ」 (受講者:8人)	北部ふれあいセンター
12月18日	土	金谷公民館市民学級・おやじの井戸端講座 「しめ縄づくり講座」 (受講者:13人)	金谷公民館
		金谷公民館 社会教育講座 「しめ縄づくり講座」 (受講者:29人)	金谷公民館
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「工作教室」 (受講者:13人)	北部ふれあいセンター
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「おなはしカフェ子供クッキング」 (受講者:5人)	北部ふれあいセンター
12月19日	日	芸術家派遣事業 (クリスマスマルシェ&ワークショップ) 派遣芸術家:久米涼子、小林みどり (ピアノ連弾) (出席者:80人)	ぴ〜ファイブ しまだ音楽広場
12月20日	月	困難を有する子ども・若者に係る実務者会議 (出席者:13人)	市役所会議棟
		ペアレントサポーターつながるシート検討会 (出席者:3人)	市役所会議棟
12月21日	火	大津農村環境改善センター 高齢者学級 「音楽鑑賞(サキソフォンの演奏)」 (受講者:33人)	大津農村環境改善センター
		北部ふれあいセンター 高齢者学級 「レクリエーション」 (参加者:13人)	北部ふれあいセンター
		初倉西部ふれあいセンター 社会教育講座 「コンニャクづくり」 (受講者:12人)	初倉西部ふれあいセンター

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
12月23日	木	第7回中央高齢者学級 「アロマセラピー体験講座」 (参加予定：21人)	しまだ楽習センター
		初倉公民館 短期講座 「お正月の寄せ植え作り」 (受講予定：20人)	初倉公民館
12月24日	金	金谷公民館 子どものための科学マジック (参加予定：20人)	金谷公民館
		伊久身農村環境改善センター社会教育講座 「科学講座」 (参加予定：8人)	伊久身農村環境改善センター
12月25日	土	冬季はつくら寺子屋 (12/25) (参加予定：32人) (12/26) (参加予定：23人)	初倉公民館
		六合公民館 市民学級 「こんにゃく作り」 (参加予定：24人)	六合公民館
		金谷公民館 げんきキッズ 「凧づくり」 (参加予定：14人)	金谷公民館
		初倉公民館 短期講座 「お正月の寄せ植え作り」 (受講予定：20人)	初倉公民館
12月25日～ 12月26日	土 日	無人駅の芸術祭 プレイメント (参加予定：200人)	川越し街道 川会所 ほか
12月26日	日	六合公民館 社会教育講座 「しめ飾り講座」 (参加予定：30人)	六合公民館
		金谷公民館 社会教育講座 「わたしはちいさなお花屋さん」 (参加予定：15人)	金谷公民館
12月27日	月	金谷公民館 げんきキッズ 「ニュースポーツをやってみよう～ボッチャ～」 (参加予定：4人)	金谷体育センター

月 日	曜日	事 項	場 所
12月27日	月	金谷公民館 げんきキッズ 「ニュースポーツをやってみよう～スポーツウエルネス吹き矢～」 (参加予定：10人)	金谷体育センター
1月5日	水	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「60歳からの健康体操」 (受講予定：14人)	北部ふれあいセンター
		中学生講座「スイ・水・数学⑱」 ※⑳12日、㉑19日、㉒26日 (参加予定：⑱2人、㉑2人、㉒2人、㉓2人)	金谷公民館
1月6日	木	第8回中央市民学級 「消費者被害を未然に防ごう講座」 (参加予定：19人)	しまだ楽習センター
1月7日	金	六合公民館 六合市民学級「健康講座②」 (参加予定：30人)	六合公民館
1月9日	日	令和4年島田市成人式 (参加予定：800人)	ローズアリーナ
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「楽しい英会話教室」 (受講予定：10人)	北部ふれあいセンター
1月12日	水	はつくら寺子屋 初倉小学校(1/12) (参加予定：23人) 初倉南小学校(1/19) (参加予定：17人) 初倉小学校(1/26) (参加予定：23人)	初倉公民館 初倉南小学校 初倉公民館
		六合公民館 六合市民学級 「みそ作り」 (参加予定：18人)	六合公民館
		初倉放課後子供教室「フレンズクラブ」 お正月あそび (参加予定：21人)	岡田公会堂
		金谷公民館 高齢者学級 「アロマ講座」 (受講予定：25人)	金谷公民館
1月12日～ 1月30日	水 日	伊久身農村環境改善センター「書初め展」 (参加予定：30人)	伊久身農村環境改善センター
1月13日	木	第8回中央高齢者学級 「健康体操」 (参加予定：19人)	しまだ楽習センター

月 日	曜日	事 項	場 所
1月13日	木	子育て広場「ぐう・ちょき・ばあ」 (参加予定：20組40人)	第一中学校
1月14日	金	金谷公民館 市民学級 (かなや未来塾) 「フェスタしまだ作品 (切り絵) づくり」 (受講予定：25人)	金谷公民館
		「情熱のタンゴ、愛のシャンソン」 ※指定管理者自主事業 (参加予定：250人)	プラザおおるり
1月15日	土	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「工作教室」 (受講予定：21人)	北部ふれあいセン ター
1月19日	水	初倉放課後子供教室「ブレンズクラブ」 選択活動 (参加予定：21人)	岡田公会堂
1月20日	木	金谷公民館 おやじの井戸端講座 「健康レクリエーション」 (受講予定：15人)	金谷公民館
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「リラックス ヨガ」 (受講予定：13人)	北部ふれあいセン ター
		第2回家庭教育学級担当者合同会議 (参加予定：40人)	プラザおおるり
1月23日	日	金谷公民館 社会教育講座 女性のための「健康づくり栄養」講座 (参加予定：30人)	金谷公民館
1月25日	火	五和小学校家庭教育学級閉講式 (参加予定：44人)	五和小学校
		北部ふれあいセンター 高齢者学級 「海野光弘版画の魅力」 (参加予定：23人)	北部ふれあいセン ター
1月26日	水	初倉西部ふれあいセンター 社会教育講座 「子ども科学教室」 山崎財団助成事業 (受講予定：20人)	初倉西部ふれあい センター
1月27日	木	六合公民館 市民学級 「みそ作り」 (参加予定：18人)	六合公民館

月 日	曜日	事 項	場 所
1月27日	木	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「キッズフィットネス」 (受講予定：7人)	北部ふれあいセン ター
		第9回中央高齢者学級 「終活講座－自分らしく最期まで生きるた めに」 (参加予定：21人)	しまだ楽習センタ ー

事務事業の概要

博物館課

実施(11月25日～12月22日)

月 日	曜日	事 項	場 所
10月2日～ 11月28日	土 日	第86回企画展(本館・分館共同展) 「八木幾朗 墨画考」	博物館分館
10月16日～ 12月5日	土 日	第86回企画展(本館・分館共同展) 「八木幾朗 墨画考」	博物館本館
12月4日～ 1月30日	土 日	収蔵品展 海野光弘「大地に立つ」前期	博物館分館
12月5日	日	ちょっと昔のおもしろ体験 「昔の冬のくらしを体験しよう」 (参加者：12人)	博物館分館
12月9日～ 12月28日	木 火	しまだ市民遺産展 (写真・パネル展示)	金谷図書館
12月12日	日	島田市史編さん委員会講演会 「宿場と助郷」 (参加者：50人)	夢づくり会館
		しまはくワークショップ 「わくわくアトリエ」 (参加者：30人)	博物館本館
12月18日～ 3月21日	土 月	第87回企画展 「プラモエキスポ2022in島田」	博物館本館
12月18日～ 12月19日	土 日	お城エキスポ (文化資源活用課共同出展)	パシフィコ横浜
12月18日	土	日本刀鑑賞初心者講座 「鉄の模様を味わう、地鉄」 (参加者：13人)	博物館本館

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
12月4日～ 1月30日	土 日	収蔵品展 海野光弘「大地に立つ」前期	博物館分館
12月9日～ 12月28日	木 火	しまだ市民遺産展 (写真・パネル展示)	金谷図書館
12月18日～ 3月21日	土 月	第87回企画展 「プラモエキスポ2022in島田」	博物館本館
1月9日	日	しまはくワークショップ 「わくわくアトリエ」 (参加予定：30人)	博物館本館
1月13日	木	第3回諏訪原城整備委員会 (参加予定：15人)	博物館本館
1月16日	日	日本刀鑑賞初心者講座 「刀工の個性際立つ、刃文」 (参加予定：17人)	博物館本館
1月21日	金	第3回川越遺跡整備委員会 (参加予定：22人)	博物館本館
1月22日	土	文化財防火デー (参加予定：30人)	川会所

事務事業の概要

スポーツ振興課

実施（11月25日～12月22日）

月 日	曜日	事 項	場 所
11月25日	木	市町対抗駅伝代表選手団結団式 (参加者：40人)	プラザおおるり
11月26日	金	スポーツ推進委員11月定例会 (参加者：26人)	夢づくり会館
11月30日	火	ワンバウンドふらば～る練習会 (参加者：30人)	ローズアリーナ
12月 2日	木	ニュースポーツ教室 ※毎週水曜 全3回 (参加者：4人)	ローズアリーナ
12月 4日	土	第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会・解団式 市の部 第6位 (参加者：40人)	静岡市
12月 8日	水	令和3年度 市内学校体育館・ナイター施設 利用者代表者会議 (参加者：40人)	市役所会議棟
12月 9日	木	ニュースポーツ教室 ※毎週水曜 全3回 (参加者：5人)	ローズアリーナ
12月16日	木	ニュースポーツ教室 ※毎週水曜 全3回 (参加者：6人)	ローズアリーナ
12月17日	金	スポーツ推進委員12月定例会 (参加者：25人)	市役所会議棟
12月19日	日	第2回島田市民ワンバウンドふらば～る大会 (参加者：100人)	ローズアリーナ

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
1月1日	土	第45回みんなで走ろう！元日マラソン (参加予定：2,500人)	島田市陸上競技場
1月5日	水	トランポウウォーク教室 ※毎週水曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月6日～ 1月26日 ※全8回	木 水	学校体育施設・ナイター施設利用者地区別 調整会議 内容：利用者間の話し合いによる令和4 年度の利用日の調整会議 対象：学校体育施設・ナイター施設の定 期的な利用予定者 地区：ア 川根中学区 イ 島田地区ナイター ウ 第一中学区 エ 六合中学区 オ 第二中学区 カ 初倉中学区 キ 旧北中学区 ク 金谷中学区	川根庁舎 市役所会議棟 市役所会議棟 六合公民館 市役所会議棟 初倉公民館 北部ふれあいセンター 金谷公民館
1月7日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月12日	水	トランポウウォーク教室 ※毎週水曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月14日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月16日	日	第68回島田・中日駅伝競走大会 (参加予定：500人)	島田市陸上競技場
1月18日	火	スポーツ推進委員定例会 (参加予定：27人)	市役所会議棟
1月19日	水	トランポウウォーク教室 ※毎週水曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月21日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月26日	水	トランポウウォーク教室 ※毎週水曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
1月27日	木	ニュースポーツ教室 ※毎週木曜 全3回 (参加予定：30人)	川根体育館

事務事業の概要

図書館課

実施（11月25日～12月22日）

月 日	曜日	事 項	場 所
11月1日～ 11月30日	月 火	特集コーナー設置 一般：「着物の日（11月15日）」 児童：「おなかいっぱい食べたいな（食欲の秋・スイーツ）」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「新たな推し、発見の予感。～アンソロジー特集～」 児童：「ねむ～い本」 「なんの実？「実」の本」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「折り紙」 児童：「知っていますか？SDGs」 「あたたかいたべもの」	川根図書館
11月18日～ 12月7日	木 火	展示コーナー 「金谷中学校総合文化部展」	金谷図書館
11月18日～ 12月16日	木 木	金谷図書館蔵書紹介コーナー設置	金谷小学校
11月24日～ 12月22日	水 水	金谷図書館蔵書紹介コーナー設置	五和小学校
11月24日～ 12月24日	水 金	金谷図書館蔵書紹介コーナー設置	金谷中学校
11月25日～ 11月30日	木 火	特別図書整理（休館）	島田図書館
11月25日～ 1月16日	木 日	ひみつカード	金谷図書館
11月28日	日	本・雑誌の無料配布 (参加者：221人)	金谷図書館
11月30日	火	学校図書館支援職員派遣	附属島田中学校
		おはなしギフト（番生寺きしゃぼんぼ） (参加者：17人)	番生寺会館
12月1日～ 12月28日	水 火	特集コーナー設置 一般：「年末年始の過ごし方」 児童：「クリスマス」	島田図書館

月 日	曜日	事 項	場 所
12月1日～ 12月28日	水 火	特集コーナー設置 一般：「クリスマス」 児童：「クリスマス」 「お正月・十二支」 「どんぐりチャレンジの本」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「大そうじ」 児童：「メリークリスマス」	川根図書館
12月3日	金	第3回島田市立図書館協議会	市役所
		本の修理ボランティア講座③ (参加者：10人)	おび・りあ
12月4日	土	川根図書館あかり展 (参加者：27人)	川根図書館
12月6日	月	おはなしギフト (おおるりきしゃぽっぽ) (参加者：24人)	プラザおおるり
12月7日	火	ブックスタート (参加者：26人)	保健福祉センター
12月8日～ 12月22日	水 水	川根図書館蔵書紹介コーナー設置	川根中学校
12月9日	木	金谷小学校施設見学① (参加者：32人)	金谷図書館
12月9日～ 12月28日	木 火	展示コーナー 「しまだ市民遺産展」	金谷図書館
12月10日	金	高齢者おはなし会 (参加者：9人)	ふれあい健康プラザ
12月14日	火	ブックスタート (参加者：29人)	保健福祉センター
		おはなしギフト (さんらいむきしゃぽっぽ) (参加者：23人)	牧之原コミュニテイセンター
12月15日	水	金谷小学校施設見学② (参加者：30人)	金谷図書館
12月16日	木	金谷小学校施設見学③ (参加者：31人)	金谷図書館
12月20日	月	すまいるタイム (参加者：50人)	島田図書館

予 定 (12月23日～1月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
11月24日～ 12月24日	水 金	金谷図書館蔵書紹介コーナー設置	金谷中学校
11月25日～ 1月16日	木 日	ひみつカード	金谷図書館
12月1日～ 12月28日	水 火	特集コーナー設置 一般：「年末年始の過ごし方」 児童：「クリスマス」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「クリスマス」 児童：「クリスマス」 「お正月・十二支」 「どんぐりチャレンジの本」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「大そうじ」 児童：「メリークリスマス」	川根図書館
12月25日	土	クリスマスおはなし会	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
1月5日	水	図書館福袋	島田図書館
1月5日～ 1月6日 (なくなり 次第終了)	水 木	図書館おみくじ	島田図書館・金谷 図書館・川根図書 館・川根支所・川 根文化センター・ 六合公民館・初倉 行政センター・大 津農村環境改善セ ンター・初倉西部 ふれあいセンター ・北部ふれあいセ ンター
1月5日～ 1月30日	水 日	特集コーナー設置 一般：「ツタンカーメンの墓発見100年」 児童：「今年は寅（とら）年」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「若い人に贈る読書のすすめ」 児童：「とら・動物の本」 「節分・鬼・冬の絵本」	金谷図書館

月 日	曜日	事 項	場 所
1月5日～ 1月30日	水 日	特集コーナー設置 一般：「神社と寺」 児童：「新しい年をいわおう！」	川根図書館
1月6日～ 1月25日	木 火	展示コーナー 「新年の一字」展	金谷図書館
1月12日	水	おはなし宅配便 (参加予定：76人)	島田中央幼稚園
		高齢者おはなし会	ふれあい健康プラザ
1月14日	金	おはなし宅配便 (参加予定：130人)	五和幼稚園
1月18日	火	ブックスタート	保健福祉センター
1月18日～ 3月6日	火 日	本の帯まつり作品展示	島田図書館
1月21日	金	おはなし宅配便 (参加予定：77人)	島田中央幼稚園
1月22日	土	文学講座（落語講座） (参加予定：20人)	島田図書館
		新春子ども映画会 (参加予定：30人)	金谷公民館
		楽しい！理科教室 (参加予定：15人)	川根図書館 川根小学校
1月25日	火	ブックスタート	保健福祉センター
1月27日～ 2月15日	木 火	展示コーナー 「金谷宿オリジナル吊るし飾り小物」展	金谷図書館
1月27日～ 2月27日	木 日	「科学道100冊」展示	島田図書館

島田市教育委員会定例会議案



令和4年度島田市の教育方針について

令和4年度島田市の教育方針を別紙のとおり定める。

令和3年12月23日提出

島田市教育委員会教育長 濱 田 和 彦

令和4年度 島田市の教育方針

令和3年度は、夏場における急激な新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療のひっ迫や経済活動が一変する業界も出るなど、日本の社会全体が大きな影響を受けた。また、長期に及ぶ自粛による経済への影響は大きく、景気にも先行き不透明感が増している。

一方、リモート会議や在宅勤務の動きは、コロナ禍を機に一気に加速し、産業構造や生活形態を着実に変化させている。また、ワクチン接種や多くの人たちの感染予防対策により、感染者数は急速に減少したが、ウイルスとの共生を考えることが求められている。

教育界では、ウイルス感染予防対策の徹底が求められ、1人1台端末の配置が~~終わり~~、授業改善と共にオンライン学習も進んでいる。

島田市では、バイパスの4車線化など交通インフラの整備も~~スタート~~し、今後の発展が大きく期待される。また、~~KADODE OOTAGAWA~~や田代の郷~~の~~スポーツ・レクリエーション広場は、~~完成後~~たくさんの人を集め、島田市立総合医療センターの開院も市民の期待が大きい。

島田市における学校教育は、教職員の働き方改革や新学習指導要領への対応は進んだものの、子供の不登校や貧困問題、いじめ問題への対応の更なる充実が課題となっている。また、GIGAスクール構想を受け1人1台端末の活用に向け各校で取り組みが行われているが、有効な活用に向けて解決しなければならない課題も明らかになっている。

島田市では、平成28年度に『島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会』から、今後の島田市が進むべき道しるべとなる提言を受け、平成30年度には島田市教育環境適正化検討委員会において、子供を最優先にした学校づくりを目指した提言書が出されている。令和元年8月には、学校再編計画策定委員会から今後の学校再編案が示され、令和3年4月には湯田小学校と初倉小学校が、北中学校と島田第一中学校がそれぞれ統合し、新しい教育活動が順調に進んでいる。令和6年4月には北部4小学校と島田第一小学校の統合が予定され、初倉地区の統合も令和4年3月の取りまとめに向け議論が深まっている。

令和4年度は、現教育大綱で示されている「市民総がかりで育む 豊かな心と学び」や、平成31年3月に策定された第2次島田市生涯学習推進大綱を実現させるため、学校教育の充実と共に、幅広い年齢層及び障害を持つ市民への学習の広がりを重視し、家庭教育を含む生涯学習の充実を推進したい。

また、川越街道や諏訪原城跡などにおいて、新たな活用の動きが始まっているので、~~おおいな~~等との連携を深める中で、今後の交流人口増大を図りたい。

しかし、新型コロナウイルスの完全終息は見通しが立たない。今後もコロナウイルスへの対応を継続する中で教育活動を充実させなければならない。そのためには、これまでの経験を基に、ゼロリスクを求めた過度な慎重論に陥ることなく、実施を前提に可能性を追求したい。

※学校再編については検討委員会より方針(案)が示された。

学校教育

○ 学校教育における基本的な考え

コロナウイルスの感染拡大による三密防止策やマスク着用などの徹底が求められ、学習の進め方や子供たちの日常生活にも影響が出ている。そのため、ストレスを感じている子供の増加や教職員の負担増も心配されている。

今後もコロナ禍における新しい生活様式は継続されるが、対面教育や体験活動の効果を大切にしつつ、活用が始まった1人1台端末とネット環境を最大限に生かした個別最適化の教育を充実させなければならない。

これまでの全国学力・学習状況調査における子供たちの学力は、どの教科も全国とほぼ同様の結果が得られている。しかし、根拠を基にした論理的な思考や数学的に説明する力に課題が見られるため、更なる「主体的・対話的で深い学び」が求められる。

生徒指導面では、全体的には安定感があるが、不登校者数や特別な支援を要する児童・生徒の増加、小学校低学年の問題行動や家庭環境に起因する問題の増加も目立つ。また、いじめ問題やネット問題も散発しており、丁寧な対応が必要となっている。

平成29年度から継続してきた「夢育・地育」は市内小中学校に浸透し、小中連携や地域の教育力を生かした教育、及び、「目標を持ち、夢を育むこと」が大切にされた教育が行われている。また、コミュニティー・スクールのコーディネーターの活躍による寺子屋事業など、学校を支援する新たな取組みが始まり、中学生ボランティアやジュニア防災士の取得者の増加なども、地域活動への貢献が期待されている。

このような状況や成果を踏まえ、教師の多忙化に配慮しつつ、信頼される学校を作り上げるために、子供の安全安心を第一にし、豊かな心や、確かな学力を育てていかねばならない。子供たちに、かけがえのない自他を大切にすることを培い、かつ、子供たちの夢や可能性を拓くため、学力や体力を高めるとともに、新しいことに挑戦する勇気や粘り強く努力する意志の強さを培うことも大切である。

以上のことから、昨年度に引き続き令和4年度の基本方針の根幹に「豊かな心」を育てることを位置づける。

「豊かな心」を育てるためには、夢や目標を持ち、自己肯定感の高い子供を育てたい。そのためには、地域資源を積極的に活用し、小・中学校における多様な体験の中で、コミュニケーション力を高め、がんばった経験を積み重ねることにより、やればできるという自信と、失敗や困難に負けないしなやかで強い心を育てることを重視する。

また、義務教育9年間の一貫教育を見据えた小・中学校の更なる連携を推進し、新指導要領に基づく学力観に立った授業、ALT等を活用した英語教育や『夢育・地育』の充実を図る。更に、地域に開かれた教育を推進するため、コミュニティー・スクールを全校で推進し、島田第一小学校の校舎改築をはじめ

▲ 学習

め、施設の老朽化への対応を計画的に進めていく。

◆ 基本方針

1) 豊かな心を育てる。 (学校教育課)

- 夢や目標を持ち、自己肯定感が高い子供を育てるため、多様な体験を重視する。
- 根気強く努力する経験や困難に立ち向かう場を大切にし、子供の頑張りなどの成長をきちんと価値付ける。
- 自己選択・自己決定する場を多くし、自立心を養う。
- ・児童・生徒が、喜びを共有する機会を増やすとともに、互いを尊重し、共に創り出す力を伸ばす。
- ・様々ながんばり体験や成功体験を大切にするとともに、係活動や清掃活動といった働くことや、友好的人間関係を築くことの大切さなどを学ぶキャリア教育を充実する。
- ・地域や和文化の良さに触れる中で、情緒を味わうとともに、地域愛や相手を思いやる心を養う。
- ・北部4小学校と島田第一小学校の統合に向け、交流活動を計画的に行い、統合後に安心して学校生活を送れるように努める。
- ・しなやかな心を育むため、地域の豊かな教育力を積極的に活用し、児童・生徒の体験や学びの機会を増やす。
- ・コミュニティ・スクールを活用し、地域の教育力を生かした教育の充実を図る。
- ・不登校や問題行動等に対し、チーム学校の考えを基に、子供とのつながりを大切にし、教師と子供の信頼関係を醸成する。
- ・夢育・地育を核に、教育課題の解決に努める。
- ・市立図書館との連携を密にし、学校図書館の活性化を図る。
- ・幼稚園や保育園・認定こども園と連携を強化し、幼児教育の実情を把握し研修の機会を設ける。
- ・島田市子ども読書100選の活用を推進する。

2) 確かな学力を育てる。 (学校教育課)

- 個に焦点を当てた学習を発展させ、「子供が主体となる学習」を授業の基本とし、主体的・対話的で深い学びの実現を小中一貫して推進する。
- ・教師が一人ひとりの子供を確かに把握するとともに、小集団学習や1人1台端末を積極的に活用し、主体的・対話的な学習により子供の考えを深める。
- ・資質・能力の育成を目的とする学力観に立ち、^の単元計画^の中に評価活動を設定し、学習問題の明示や授業の振り返りを大切にしながら、思考力・判断力・表現力を伸ばす。

- ・小学校高学年の教科担任制と小・中学校教員の兼務を推進するとともに、学力の二極化に対応する。
- ・学習の定着を図るために、ノート作りの充実及び子供による学習評価を推進する。
- ・家庭学習を重視し、小学校低学年から、学びの習慣化を図る。

3) ^{づい}健康な体のため、体力の向上を図る。

- 体力の向上としなやかで強い心の育成を推し進め、児童生徒の健やかな成長を支える。
- ・子供が人生を通して健康に過ごすための基礎的な知識を持ち、自ら高める意識を育む。
- ・学校の授業などで、運動やスポーツへの関心を高め、運動を楽しむ機会を増やす。
- ・起床、就寝、食事など規則正しい生活を送る意識を高め、習慣化するための教育を実施する。
- ・地震、津波などの自然災害に際して、自らの命を守るための対応力を育む。

4) 特別支援教育の充実を図る。 (学校教育課)

- 子供一人ひとりの実態に応じた支援体制をつくとともに、教育センター等との連携を密にする。
- ・教育のユニバーサルデザイン化を推進する。
- ・子供や保護者のニーズを的確につかみ、就学支援の充実に努める。
- ・子供の資質・能力を最大限に伸ばすため、個に合った課題設定や端末を有効に活用して個別最適な教育を推進する。
- ・幼稚園や保育園・認定こども園と連携し、適切な就学支援を充実させる。

5) 学校給食の充実を図る。 (学校給食課)

- 安全安心な給食の提供とともに、食育の推進を図る。
- ・学校給食センターの円滑な運営を図るとともに、事故を起こさないように安全管理を徹底する。
- ・学校給食を生きた教材とした食育の推進を図る。
- ・食物アレルギー対応食を安全・正確に提供する。
- ・地元生産者と連携を図りながら、地産地消を推進する。
- ・国が定める基準に基づき、衛生管理を徹底していく。
- ・給食センター調理用備品等の更新を計画的に進める。

6) 教育環境を整備する。 (教育総務課)

- 計画的に施設、設備及び教材等の整備を進め、児童・生徒にとって安全で機能的な学習・生活の場を確保する。
- ・島田第一小学校の校舎改築事業を進め、経年による劣化が著しい学校施

設については、優先順位を定め施設の機能・性能を維持するための改修工事を実施する。

- ・ICT環境の充実に努め、1人1台端末の活用を進める。
- ・教材、教具及び図書資料の充実を図る。
- ・学校の市事務職員・業務員への指導助言を適切に行う。
- ・学校統合に向け、保護者や地域住民の不安を軽減するために、跡地の利活用についても検討を促進する。

社会教育

キャンパーが増加する

○ 社会教育における基本的な考え

コロナ禍において新しい生活様式が求められ、制限も増加したため、屋外での活動を求める動きが見られ、~~キャンパー~~が増加するなど新たな動きも見られた。また、コロナ感染防止による対面活動が減少した反動として、人と関わる活動を求める動きも見られた。傾向

様々な文化活動や学びの場は、市民の心の豊かさにとって欠かせない。そのため、コロナ禍においても感染対策に留意し、様々な学びや体験の場を大切にしたい。また、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域に愛着をもつ人や地域に係る人を増やし、『地育』の推進を図りたい。

青少年の豊かな心を育てるために、一定のルールに基づいた規則正しい集団行動や集団生活を行う体験活動を通して、協調性・積極性・豊かな人間性を伸ばし、心身ともに健やかでたくましい青少年の育成を目指していく。また、青少年が地域活動に積極的に参加できるように働きかけていく。

家庭教育については、社会教育委員からの提言を基に、子育てを通じて親が自ら学ぶ場や地域で支える場を充実し、子供の社会的自立を促す助言や支援体制も充実する。

生涯学習においては、第2次島田市生涯学習推進大綱の定着や充実を図るため、後継者育成や幅広い年齢層の参加を積極的に推進する。また、本庁各課や各公民館等が連携して、学習機会の提供や内容の充実を図る。

更に、市民の自発的な学習意欲に応えられるよう、図書館や博物館などとの連携をより一層図るとともに、デジタル化を推進し、情報の発信や施設利用の利便性を高める。

◆ 基本方針

- 1) 青少年の育成を推進する。 (社会教育課)
 - 青少年が地域貢献する機会を設け、人に役立つ活動を広げていくことにより社会性を伸ばしていく。
 - ・小学生を対象にした野外体験活動を行う少年育成教室「しまだガンバ」の充実を図る。

学校と地域が連携・協働に行う様々な活動を支援するため、地域学校
協働本部事業コーディネーターの市内全小中学校への配属を目指す。

- ・ボランティア活動への参加者を増やすとともに、青少年リーダーの養成に努める。
- ・「子ども・若者プラン」を推進するために、関係機関との連携を充実させる。
- ・地域の教育力を活用した寺子屋事業や体験活動などを推進する。
- ・地域学校協働本部事業のコーディネーターを市内全小中学校に配置し、学校と地域が連携・協働して行う様々な活動を支援する。

- 2) 子供の成長発達に合わせた親の学びの機会を充実させる。(社会教育課)
→ 幼児期の家庭教育の大切さを親が学び、実践する力をつけていく。
そのためには、親同士のつながりを大切にし、親同士が学び合う環境をつくる。
 - ・幼児をもつ保護者がいつでも相談できる機会を広げる。
 - ・3歳児健診や就学時健診時における親学講座の充実と、関係課との連携を深め、幼稚園・保育園・こども園の保護者会等での学びの場を広げる。
 - ・家庭教育学級の充実とともに、乳幼児をもつ親の交流を推進する。
- 3) 公民館等の活動の推進を図る。(社会教育課)
→ 公民館等は、地域文化の交流拠点として、地域住民の学習意欲を高めるとともに幅広い年齢層の活動を推進する。
 - ・公民館等で実施する事業や地域主体の自主事業を拡充し、利用者数の増を図る。
 - ・社会教育施設長研修会等を開き、活動の進展を図る。
 - ・市民ひとり一生涯学習を目標に、多くの地区住民が参加できる活動を推進する。
 - ・地域力を生かすため、コーディネーターの育成とボランティアの積極的な活用を図る。
 - ・情報格差解消を目的とした公民館講座を開講する。
- 4) 生涯学習を推進する。(社会教育課)
 - ・生涯学び続ける姿勢を育てるとともに、新たな参加者を増やすため「しまだ楽習センター」、「東海道金谷宿大学」の充実と活性化を図る。
 - ・公民館活動等における各種事業による地域文化の充実を図る。
 - ・関係機関が連携して、次世代育成の場を充実する。
 - ・文化振興に寄与するため、市民の関心ある事業を推進する。
 - ・オンライン講座等社会教育のデジタル化に対応できる講師等の育成を図る。
- 5) しまだ楽習センター、野外活動センター山の家、山村都市交流センターささまの運営状況を常に把握し、その活性化を図る。(社会教育課)

- 6) **読書**活動の推進を図る。 (図書館課)
- 3図書館ともに**図書館資料の充実**、**レファレンスサービス**、おはなし会などを通して市民の読書意識を高める。
- ・学校、公民館と連携する中で、読書環境の充実を図る。
 - ・図書館ボランティアの養成を伸張し、その活動を図書館、市内小・中学校、公民館に拡大する。
 - ・市民が関心を持つ講座やイベントを企画するとともに、関係各課と連携する中で来館者の増を図る。
 - ・障害者への対応を充実する。
 - ・島田市子ども読書活動推進計画(第四次)を受け、子供たちの読書意欲を向上させる。

文化振興

○ 文化振興における基本的な考え

島田市は、帯祭り・川越遺跡・諏訪原城跡に象徴される文化と歴史の交差点である。コロナ禍であっても地域芸能の伝承や文化的な資産を有効に活用し、郷土愛や心の豊かさにつなげていかなければならない。

物に恵まれた消費生活を楽しむ人がいる一方で、消費生活に振り回され生きることが精一杯の人が増えている。このような社会においては、精神的な安らぎや豊かさのため、文化活動の充実が求められる。今後は、市民との協働を重視する中で、文化活動の広がり、市民文化力の向上を目標として、将来における市民ひとり**1**文化活動を目指す。

一方、諏訪原城の見晴らし確保を目的としたクラウドファンディングが行われるなど、民間の新たな動きも見られた。

ヒストピア島田である博物館周辺施設を、文化と歴史の発信基地や観光資源として活用するとともに、市民の豊かな心を醸成するため、市民に愛される場としたい。

◆ 基本方針

- 1) 文化事業の充実を図る。 (社会教育課・博物館課)
- ・幅広い年齢層の市民や様々な境遇にある市民が、より身近に良質な文化芸術に触れることのできる機会を提供する。
 - ・市民、団体等との協働による多様な文化芸術の鑑賞機会を提供する。
 - ・地域の文化芸術活動団体や市ゆかりのアーティストの活動を支援する。
 - ・次代の文化芸術を担う人材の育成を図るための事業を推進する。
 - ・「新しい生活様式」に対応した多様な文化芸術の発信及び鑑賞機会の提供を進めるために、デジタル技術の活用を図る。
 - ・地域の文化・伝承活動を支援する。

2) 文化財や博物館活動を一層市民に近づけていく。 (博物館課)

→ 魅力ある事業を提供するとともに、文化財の価値の発信を工夫し、文化財等を市民の身近なものとする。

- ・博物館及び分館は、市内外の人が楽しむ展示とともに安らぎや憩いの場としての事業も充実させる。
- ・企画展や講座を魅力あるものとし、市民団体の活用や広報を工夫する。
- ・諏訪原城跡は、整備計画に従って整備を進めるとともに、様々な活動の場として活用し、魅力を効果的にPRする。

・博物館(本館・分館)及び川越遺跡のエリアを「ヒストリア島田」として一体的に活用していくため、地域の人々の理解を深める中で、イベント等での魅力の発信や、歴史的価値を高める整備を進める。

- ・学校や公民館との連携を強化し、地域の歴史や伝統を紹介する出前講座を充実する。
- ・図書館や生涯学習講座などと連携して、良質な博物館講座を企画する。

スポーツ振興

○ スポーツ振興における基本的な考え

コロナ禍において新しい生活様式が求められ、行動制限も行われたため、屋内外での活動が減少した。しかし、キャンパーが増加するなど個人や家族で楽しむ人の増加など新たな動きやコロナ禍ゆえに対面活動や集団での活動を求める動きも見られた。また、東京オリンピック・パラリンピックが行われ、島田市出身の選手の活躍や、事前合宿に訪れた選手の活躍もあり、これまで以上にスポーツに対する関心が高まってきている。

島田市は、大井川の河川敷をはじめとしたスポーツ施設に恵まれ、日常的にスポーツを楽しむ市民は多い。また、しまだ大井川マラソンinリバティに象徴されるように、スポーツによる交流人口も多い。競技スポーツにおいては、中・高校生の活躍も目立ち、スポーツ表彰される市民も多い。

横井運動公園人工芝サッカー場や河川敷グラウンド・ゴルフ場などのスポーツ施設の整備が進み、空調の完備した島田市総合スポーツセンター(ローズアリーナ)や、田代の郷スポーツ・レクリエーション広場など、島田市のスポーツ・レクリエーション環境は充実し、利用者も増加している。また、島田市スポーツ協会が法人化し、今後の活動に期待が集まっている。一方、島田球場の改修や広大な河川敷グラウンドの維持管理が課題となっている。

また、ニュースポーツの普及も進んできているので、市民ひとり1スポーツを目標に、より多くの市民がスポーツに親しみ、健康的な生活を営むことを願っている。

77目的

◆ 基本方針

1) スポーツの普及・推進を図る。

(スポーツ振興課)

- ・市民ひとり1スポーツのため、地区におけるスポーツ活動を支援する。
- ・市内で行われる各競技大会の支援を充実する。
- ・高齢者や障害者に対する支援を充実する。
- ・ニュースポーツの普及に努める。 *・1973スポーツ*
- ・市町対抗駅伝競走大会における島田市代表チームの活動を支援する。
- ・法人化した島田市スポーツ協会の自立的活動を支援する。
- ・全国大会等出場者の顕彰及び広報を充実する。

2) スポーツ施設の充実を図る。

(スポーツ振興課)

- ・より多くの市民が活用できるように大井川河川敷等のスポーツ施設及びローズアリーナの維持管理に努める。 *本場*
- ・田代の郷スポーツ・レクリエーション施設は、幅広い年齢層が親しむことができるように温泉施設と連動した管理運営に努める。
- ・~~施設貸与事務~~のデジタル化の定着に努め、利用者の利便性を高める。
- ・横井運動場公園の改修計画を進める。

77目的

5林施設予約システム

議案第38号

島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会要綱の一部改正について

島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会要綱（平成27年島田市教育委員会告示第8号）の一部を次のように改める。

令和3年12月23日

島田市教育委員会教育長 濱田和彦

第2条中第2号を削り、第3号を第2号とし、同条第4号中「前3号」を「前2号」に改め、同号を同条第3号とする。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

新 旧 条 文

例規名 島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会要綱

新 条 文	文
(検討事項)	
第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。	
(1) 省略	
(2) 省略	
(3) 前2号に掲げるもののほか、対応食の提供に関し必要な事項	

対 照 表

旧 条 文	文
(検討事項)	
第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。	
(1) 省略	
(2) 食物アレルギーを持つ児童生徒への対応食の提供の適否に関すること。	
(3) 省略	
(4) 前3号に掲げるもののほか、対応食の提供に関し必要な事項	

協 議 事 項



次回教育委員会定例会における
協議事項の集約



報 告 事 項

(報告事項)

学校教育課

令和3年11月分の生徒指導について

令和3年11月分の生徒指導について、別紙のとおり報告します。

指定管理者の指定について

島田市金谷生きがいセンターの指定管理者の指定について、次のとおり報告します。

管理を行わせる施設 の名称	指 定 管 理 者		指定の期間
	所 在 地	名 称	
島田市金谷生きがい センター	島田市本通五丁 目2番の2	株式会社まちづ くり島田	令和4年4月1日か ら令和9年3月31日 まで

指定管理者に指定する団体の概要

1 名称

株式会社まちづくり島田

2 代表者

代表取締役 しみずかつとし 清水克俊

3 所在地

島田市本通五丁目2番の2

4 設立年月日

平成11年10月1日

5 業務内容

- (1) 不動産の売買、交換、賃貸借及び仲介並びに所有、管理及び利用に関する業務
- (2) 島田市内の都市開発に関する企画、調査、設計コンサルタント業務
- (3) 販売促進に関する情報、資料の収集、企画及び販売
- (4) 駐車場、会議場、コミュニティーホール等の企画、調査、設計、運営
- (5) 地場産品の販売及び飲食店の経営
- (6) 共同店舗、集合店舗等の商業施設の企画、建設、運営
- (7) 地域産業に関する商品の企画立案及び製造販売の斡旋
- (8) 損害保険の代理業及び生命保険の募集に関する業務
- (9) 情報関連事業に関する企画、調査及び運営
- (10) 地域活動に関する情報の収集及び提供に関する業務
- (11) 地域における文化活動の推進に関する業務
- (12) 緑化思想の普及及び緑化の推進に関する業務
- (13) ばらのまちづくりの推進に関する業務
- (14) 健康の増進及びスポーツの普及に関する業務
- (15) 文化施設、体育施設、公園施設その他の施設の管理運営の受託に関する業務
- (16) 島田市が行う文化催事等の受託及び協力に関する業務
- (17) 公の施設内における物品販売
- (18) 前各号に附帯する一切の業務

6 役員

代表取締役1人、取締役5人、監査役2人 計8人